

養護教諭 解答例

1	a	治癒	b	学校医	c	解熱	各2点 (24点)	
	d	百日咳	e	治療	f	顎下腺		
	g	腫脹	h	全身状態	i	風しん		
	j	痂皮化	k	新型コロナウイルス感染症	l	軽快		
2	(1)	a	②	b	③	c	①	各1点 (5点)
	(2)	ア	身体	イ	精神			
3	(1)	①	エ	②	カ		各2点 (10点)	
		③	ウ					
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・視力B (0.9~0.7) の者は、再検査を行い、再度B以下であれば眼科で受診するように勧める。 ・視力C (0.6~0.3) , D (0.3未満) の者は、全て眼科への受診を勧め、その指示に従うよう指導する。 ・眼鏡の矯正によってもなお視力がAに達しない者については、教室の座席を前にするなど配慮を行う。 <p style="text-align: right;">等</p>						
4	(1)	①	<ul style="list-style-type: none"> ・全校の子供を対象としており、入学時から経年的に成長・発達を見ることができること。 ・活動の中心となる保健室は、誰でもいつでも利用でき安心して話ができること。 ・子供は、心の問題を言葉に表すことが難しく、身体症状として現れやすいので、問題を早期に発見しやすいこと。 ・保健室頻回来室者、不登校傾向者、非行や性に関する問題など様々な問題を抱えている子供と保健室でかかわる機会が多いこと。 ・養護教諭の職務の多くは学級担任をはじめとする教職員、学校医等、保護者等との連携の下に遂行されること。 <p style="text-align: right;">等</p>					各2点 (4点)
		②	コーディネーター					
	(2)	①	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1日3回規則正しく食事を摂ること。 ・好き嫌いせずに野菜を食べるようにすること。 ・十分な睡眠時間を確保すること。 ・運動すること。 ・排便したくなったら、がまんしないで、トイレに行くこと。 ・水分をしっかりとること。 <p style="text-align: right;">等</p>				
	②	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で子供が腹痛を起こしたことを保護者に連絡し、家庭で変化が見られるようであれば、受診するようお願いする。 ・子供に行った指導内容を伝え、家庭の様子を聞いた上で食物繊維が多い(野菜、豆、くだものなど)食べ物を食べさせるとよいことなどを助言する。 ・朝の排便習慣が身に付けられるよう家庭の協力をお願いする。 <p style="text-align: right;">等</p>					各3点 (6点)

5	(1)	ア	保健教育		イ	保健管理		各2点 (14点)	
		ウ	組織活動		※ア, イ, ウは順不同				
	(2)	エ	学校保健目標		オ	連携			
		カ	啓発		キ	他者			
6	(1)	a	理解	b	年齢	c	個人差	各2点 (16点)	
		d	思春期	e	精通	f	異性		
		g	食事	h	表現				
	(2)	i	ア	性腺刺激ホルモン					各3点 (12点)
		ii	イ	卵巣, 卵胞		ウ	子宮		
		iii	エ	月経前症候群 (PMS, premenstrual syndrome)					